

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	難病患者サポート事業			担当部局庁	健康局			作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	疾病対策課			課長：田原 克志
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	難病患者サポート事業の実施について			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	患者の不安やストレスを解消するための精神的、心理的サポートを行う様々な事業を実施する。自立した患者団体の育成を目的に経営マネジメントや運営管理の研修等を実施し、患者の支援を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①患者(相談)支援事業 患者(相談)支援ネットワークの構築、患者相談事業、管理研修等を通じて支援。 ②患者活動支援事業 国内研究会の開催支援、一般向けフォーラム等の開催支援、患者団体等との交流に対する支援。 ③調査・記録事業 患者・患者家族の体験談・療養経験をデータベース・テキスト化 ④ピアサポート事業 ピアサポーターの養成							
実施方法	補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	20	18	21	20	0	
	執行額	20	17	16				
執行率 (%)	100%	94%	76%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎 年度
	前年度の研修会の終了者数	研修会の修了者数	成果実績	人	36	34	28	
			目標値	人	38	36	34	前年度以上
		達成度	%	94.7%	94.4%	82.4%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	相談件数	活動実績	件	181	237	563		
		当初見込み	件	67	181	237	563	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たり コスト	円/件	37,987	30,792	7,592	9,423
	X:「執行額」 Y:「研修会やフォーラム等の参加者数」		計算式	X/Y	20,133,000/530	17,490,000/568	15,966,000/2,103	19,863,000/2,108
平成 27 ・ 28 年度 予算 内訳 (単 位: 百万 円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	難病等情報提供事業費補助金	20						
	計	20	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	患者団体の資金力のみでは実施できないため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	患者団体向けの補助金であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	患者及び患者家族の支援の充実を図る事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	事業費のみではなく、事業内容についても評価する必要があることから、公募としている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	効率的な運営になっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	実施主体の事務経費等、必要なものみに支出している。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	患者や患者団体支援に関する経費のみを補助の対象としており、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	相談員が年度途中で退職し、新たな相談員を雇うまでに時間を要したことにより、賃金が見込みより少額となったため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	毎年度、成果実績は概ね成果目標の0.8~1.0倍で推移しており、見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みを上回るものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	難病患者からの相談も増加しており、患者会リーダー養成研修も一定の参加者がいることなどの本事業独自の事業を実施し、患者・患者家族の支援を図っている。			
	改善の方向性	平成23年度の事業開始以来、相談件数が増加している等着実に実績は伸びており、今後も継続して実施していく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	0016	平成24年度	113
平成25年度	142	平成26年度	153		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
16百万円

〔 交付要綱に基づき、交付申請書の内
容審査、交付決定等を行っている。 〕



【公募・補助】

A. 一般社団法人 日本難病・
疾病団体協議会
16百万円

〔 難病患者サポート事業の実施 〕



【随意契約】

B.個人、株式会社等(22)
5百万円

〔 ・日本の患者会web事業の為の動画制作
・研修会等の開催経費 等 〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	事務局旅費等	3.8			
賃金	相談員等賃金	4.9			
雑役務費	情報収集サーバー使用料等	3.6			
借料・損料	相談室賃借料等	1.1			
印刷製本費	全国難病センター研究会資料印刷費等	1			
謝金	企画・評価委員会への出席委員謝金等	0.9			
通信運搬費	電話・インターネット通信料等	0.5			
消耗品費	文具等	0.1			
計		16	計		0
B.特定非営利活動法人障害者就労支援の会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	日本の患者会web事業の為の動画制作等	1.2			
計		1.2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会	難病患者サポート事業の実施	16	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人障害者就労支援の会	日本の患者会web事業の為の動画制作等	1.2	随意契約	-
2	株式会社北海道機関紙印刷所	第21回全国難病センター研究会報告書印刷代	0.6	随意契約	-
3	特定非営利活動法人 アスリッド	日米稀少疾患患者インデックス作成・管理/RDD周知の為のピンバッジ購入費	0.5	随意契約	-
4	オリックス株式会社	インターネット関連経費	0.3	随意契約	-
5	個人	重症難病患者のコミュニケーションの為のスイッチ適合紹介サイトの作成	0.3	随意契約	-
6	有限会社高知プリンスホテル	第23回センター研究会高知会場費	0.3	随意契約	-
7	クリムゾンインタラクティブリミテッド	国際交流支援に係る資料の翻訳料	0.2	随意契約	-
8	株式会社きかんし	リーダー研修会報告書印刷代	0.2	随意契約	-
9	北海道視覚障害リハビリテーション協会	会員管理データベース構築費	0.2	随意契約	-
10	株式会社共立メンテナンス	リーダー養成研修会会議室賃借料	0.1	随意契約	-